En Vie®

5
MAY / 2016

www.en-vie-fashion.com

FLOATING MIND
想いのままに漂う
Intro

STRONG JAPAN
HARUKI SHIMOKOSHI

ポストモダン
ファッショントレンド

L'AMOUR LA MER
photography

ファッションショー
ニューヨーク、神戸、関西

Empowerment
エンパワーメント

Plus Trends, Editorials, Photography and so much more!
その他、ファッションニュースが満載!

Photography / PHILIP REICHWEIN
(IG: FOTOGRAFPHILIPREICHWEIN, FACEBOOK.COM/REICHWEIN.FOTOGRAFIE)
Makeup / VANESSA HARRER | AUGUSTE KARSOKAITE
MODELS/ STEFFI GEE, JULIA MENA

CONTENTS

08 EDITORS WORD
09 EDITORIAL **KATTY**
17 EDITORIAL **WHIMSY**
20 FASHION TREND **THE UNCONDITIONAL TRADITIONAL** トラディショナルは無限大
24 FASHION TREND **I WANNA BE OLD**
28 PHOTOGRAPHY **BLACK LOVE**
32 INTRO **SIMONA**
34 PHOTOGRAPHY **CRACKS UNDERNEATH**
37 INTERVIEW **DAVID**
42 PHOTOGRAPHY **L'AMOURLAMER**
48 FASHION TREND **KATE**
51 PHOTOGRAPHY **CHILD HOOD**
56 FASHION TREND **COMME DES GARÇONS**
62 INTRO **INTO THE HALLOW**

66 PHOTOGRAPHY **TWO**
68 FASHION TREND **POST MODERN** ポストモダン
74 FASHION TREND **MILANO** ミラノ
79 PHOTOGRAPHY **STRONG JAPAN**
84 FASHION SHOW **KOBE COLLECTION** 神戸コレクション
86 FASHION SHOW **KANSAI COLLECTION** 関西コレクション
88 FASHION SHOW **NEW YORK**
90 INTRO **FLOATING MIND** 想いのままに漂う

TEAM

Editor in Chief & Direc tor
GERD KRAMER

AD, Design & Illustration
LUC-ANDRÉ PAQUETTE
FLORIANE PARRES PETTENUZZO
JENNIFER HORSTMEIER
CHRISTINE XIANG
MINORU KOSAKA (APOLLO DESIGN)
AURORE DEMEDE

Graphic Designer
AYAKO NAGUMO

Editors
AGATHE SCHWAAR
ELIZABETH HUNT
EDWARD HATFIELD
JEN LOMAS

Sub Editors
MARY SIMCOX
BRANDON LINDER
VERA CHAN
SILVIA GALASSO

Japanese Editors
TOMOKO FUJII
YU ASADA
HIROKO IKEDA
TOMOE YAMADA
NORIKO
MINORU KOSAKA

German Editors
CHRISTINE POLZ
VIRGINIA RAEUCHLE SCHAAL

French Editors
AGATHE SCHWAAR

Spanish Editors
GLÁUCIA MONTEIRO

Korean Editors
SOOJIN LEE
JIYOUNG CHOI

Chinese Editors
ERIKA
JAYLON
KELLY

Vietnamese Editors
THANH HUYEN
TRANG NGUYEN

Vietnamese Graphic Designer
HA TRINH
Consultants

SOOJIN LEE
YUQI NAKAMURA
MIWA HIKITA

Marketing
YOKO YAMAMOTO
ELIZABETH PAIGE HUNT

Stylists
TOMOKO FUJII
EWA FIUTAK
JUSTYNA KORUSIEWICZ

Web & PR Managers
KENTA UCHIDA
YOSHINORI YOSHIDA
JOONAS LIEPPINEN
SAYAKA HASHIMOTO
MASAHIRO MINAMI

Assistant
NAOKO HIGASHIYAMA

Disclaimer: Every effort is made to ensure all En Vie media is up-to-date. Please note that opinions expressed herein are not necessarily endorsed by the publisher. The publisher cannot be held liable for any loss, damage or distress resulting in errors, omissions or from adherence to any advice in this magazine. The publisher takes no responsibility for the quality or content of advertisements. All rights reserved by the copyright holder.
To see the full disclaimer please go to www.en-vie-fashion.com/disclaimer.html

LETTER FROM THE EDITOR

自分の人生を自分で決め、自立し、自分自身で問題に立ち向かい、自分が決めた道を歩むことを言い換えるならば「エンパワーメント」。それは、我々が皆捜し求めているのものではないでしょうか?

一人ではできないこと、たとえばあなたは朝、パンを焼くために早起きをしたいと思いますか?我々は少なからず誰かに頼って生きているものです。ただバスに乗ることだってそうです。

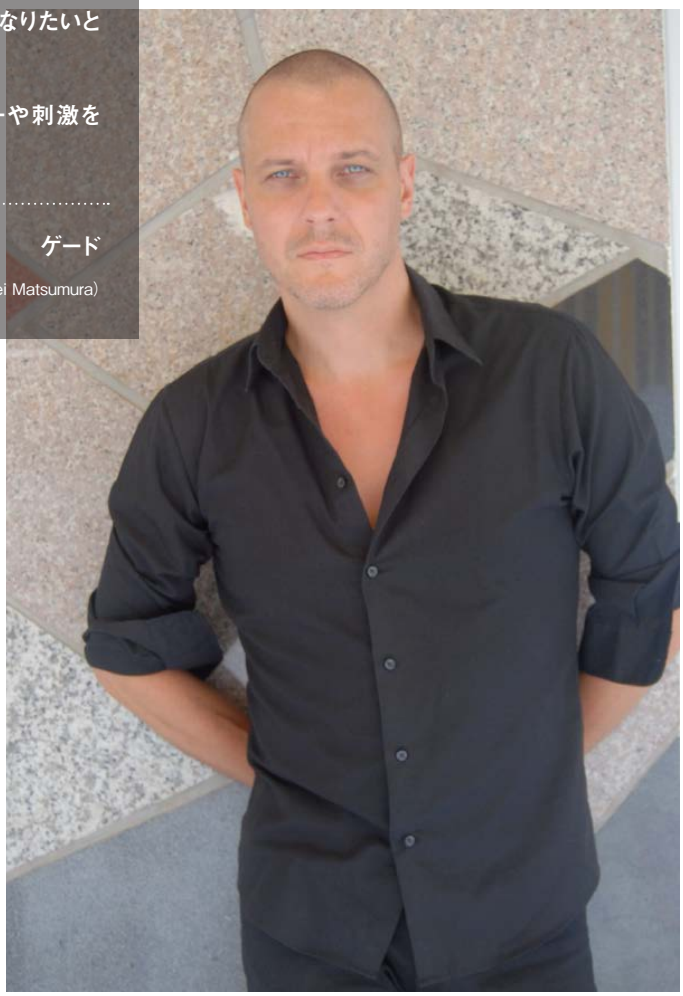
もちろん、自分自身で生活をコントロールしているなら、それは悪いことではありません。

今月号は、人生をまっすぐ生きている人、またはそうなりたいと思っている人のためのものです。

ここに書かれたストーリーやイメージを見て、パワーや刺激を受けてもらえれば嬉しいです。

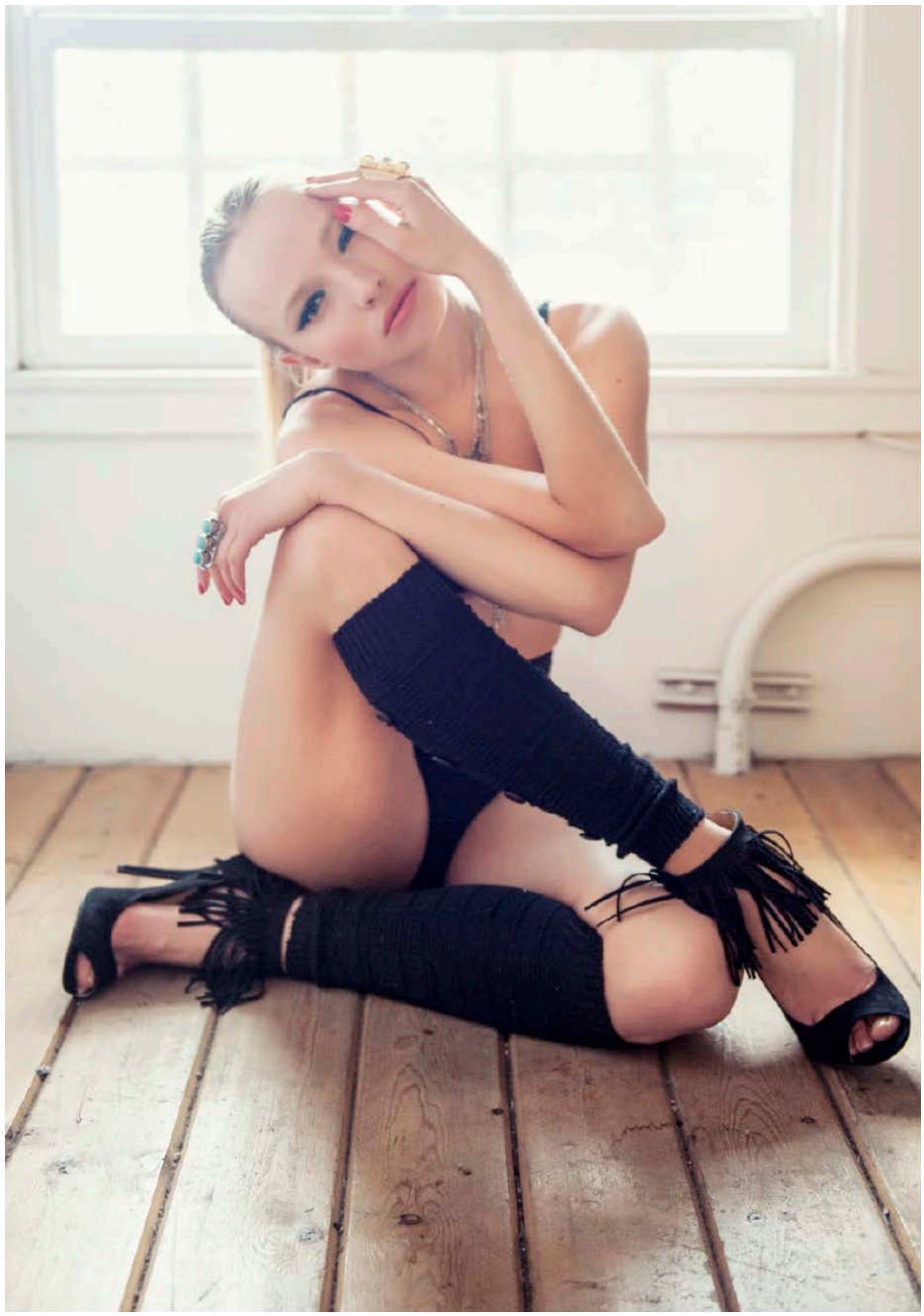
ゲード

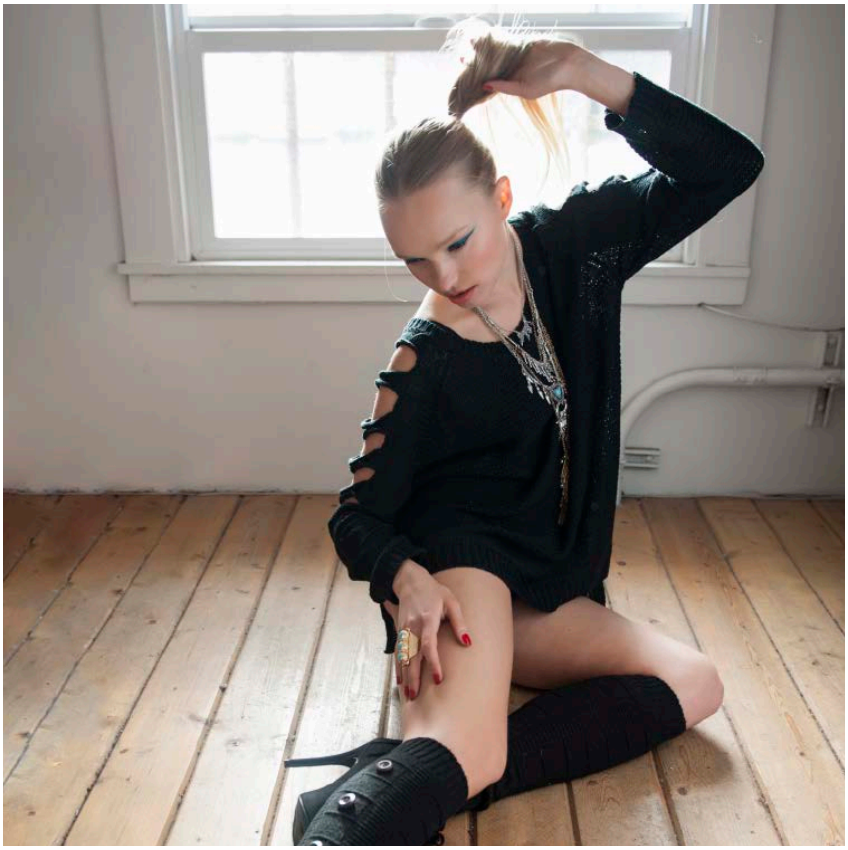
(Translated by Kei Matsumura)

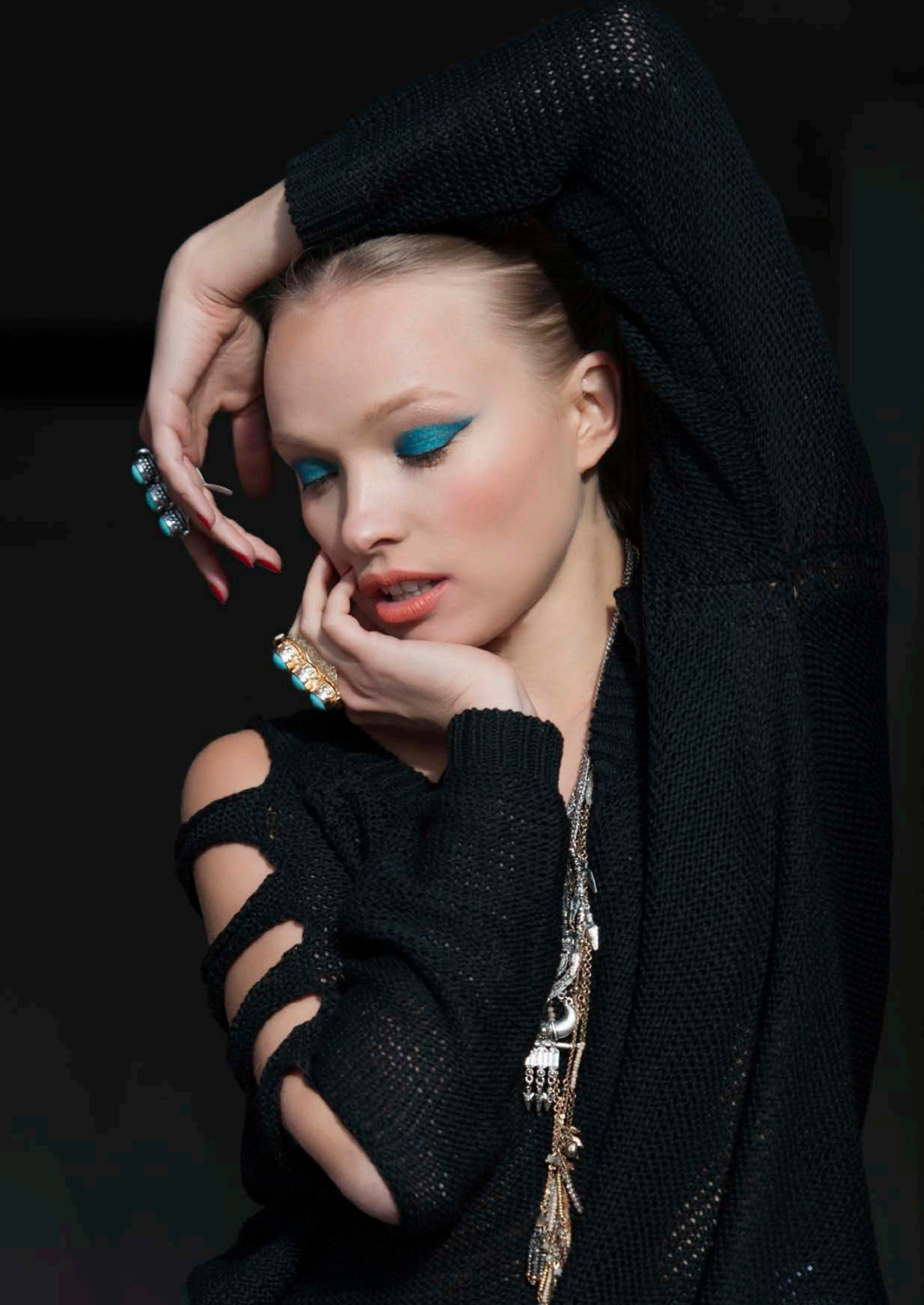


KATTY

Stylist / ELINA FURMANE AT ROCK ETIQUETTE
Makeup & Hair/ ROCIO JAHANBAKHSH
Model / KATTY UKHANOVA







Photography / CHLOE BURTON
Hair & Makeup / KIRSTY BREMNER

WHIMSY

Stylist / CANDICE HANNAH MARCELLE
Model / CARLY JARRET @ PRISCILLAS

THE UNCONDITIONAL TRADITIONAL

トラディショナルは無限大

Photography / FOUAD TADROS
Stylist / DANA MORTADA
Hair / GEORGES MATAR

Outfits - Bashar Assaf

トラディショナルは無限大!

By Devsmita Saha

有名なメイクアップアーティストのSharbel Hasbanyと同じ考えをシェア出来てとても幸運だと思います。彼は「伝統的な衣装は、どのように私達の文化やアイデンティティを表現するのか。そして、民族衣装を着る人々は、団結を象徴している」ことについて、真剣に考えているの。また、彼は「私達は、すべてのことに、ある程度バランスを保つべきで、たとえば、伝統的な衣装を完全に棄て去り、西洋のトレンドに100%従ったり、またその逆もあってはならないことだ」と言います。私は、彼を素晴らしい人だと思っています。だから、サリーのような伝統衣装以外にも柄物のパラッツォパンツや、スカート、スーツなどの現代のトレンドが加わった服も、優雅な美しい効果を創造していると思うの。エスニックモチーフは、プロのファッションデザイナーの技術や幅広い知識を通して、現代のパターンに取り入れられています。それに、デザイナー達は、伝統的な衣装にもモダンなスタイルを提供しているわ。それは、古典的で私達の文化の本質を保っているのよ。私たちが民族性を表現するために服を着るとき、私たちのアイデンティティーを楽しみ、文化のルーツを表現しているのね。これは、絶対に廃れない女性服の種類であり、年中さまざまなデザインのものでワードローブがあふれています。いつも言うように、私たちが着るのは、服だけではなく、あふれんばかりの自信であるということ。だから、レディーの皆さん、洋服にロマンスを、そして気品を身にまとってくださいね。

Translated by Saki Nagamine

この月をこんなにワクワクさせてくれるものは何?春が始まり、私たちの起源や信念、慣習を祝うことによって、エスニックへの興味が高まるからだと思うの。何が理由であれ、「カラー」は私たちの幸福に刺激を与えてくれることは確かでしょう。さあ、エスニックスタイルの話をしましょう!

日々ファッションは異文化をオープンなものにしています。世界中の有名人たちが、ワールドワイドな影響を受けたファッションを身にまとっているけど、これは、一度は消えてしまったかのように思えた伝統文化への関心が爆発的に広まるきっかけとなったように思います。異文化への関心と共に、世界中のモデル業界でも、外見の民族的多様性が増大し、このことが私たちの異文化理解にとても良い影響を与えています。

インド女性は、民族衣装のサリーを様々なスタイルで体に包み込むようにまといます。サリーは、約4〜8メートルの帯状で縫い目のない布でできた民族衣装です。私は、Bong Delhiite(インドの首都デリーに住むオシャレなベンガル族)ですが、個人的に、シンプルなシフォンのサリーに母から貰ったパールを合わせれば、女性の真の美しさを最高に引き立てると思うの。この永遠に魅力ある衣装であるサリーは、多くのファッションデザイナーの創造力のおかげでさまざまなスタイルに取り入れられています。

しかし、日常生活が忙しくなるにつれて、いつも真っ先にカジュアルなジーンズとシャツのスタイルや、Bohoスタイル(ボヘミアンが進化したファッション)を選んでしまいがちです。でも、世の中の女性たちよ!あなたがエスニックファッションに週末ひたって、天使や妖精のようになることがダメだなんてルールはないんですよ!

赤とゴールドの古典的な色合いは、あなたの週末の姿にドラマを加えるわ。ゴールドは、いつも世界中の異文化交流に影響を与えてきた色ですもの。私は、エレガントなサリーを着て、ルーズに髪の毛を束ねて、最後にスモーキーなアイシャドウでミニマムなメイクすることが一番好き。これで、セクシーでありながらエレガントになることが出来るわよ。

そうよ、うまく服を着こなすことで、あなた自身を女神に変えることが出来るし、もちろん女神のような素敵なふるまいも身に付けることも大切だけどね。

I WANNA BE OLD

Photography / BALINT NEMES
Model / PATRICIA
Stylist / CAROLINE NOVAKOVA

BLACK LOVE

Lingerie - Intimissimi
Panty - artificeclothing.com
Belt - H&M
Mask - jewall.de

Photography / HARTMUT NÖRENBERG (WWW.HART-WORX.COM)
Model / TANJA BORISSOVA

Location / MÖLHEIM

Lingerie - Intimissimi
Boler - eigenes Design vom Model

Lace Body, Earrings - H&M
Shoe - Pleaser
Harness - Tanja Borissova

Dress-Gianni Versace

Dress-Herve Leger

Dress-Chanel
Shoes-Valentino

SIMONA

Photography / JOHN RUSSO PHOTO

CRACKS UNDERNEATH

Photography /
JANA SCHUESSLER

Hair & Makeup /
URNAA

Model /
VANESSA HÄNISCH

Photography / DAVID SIERRA
MakeUp & Hair / JHOAN GARRIDO)
COSTUMES / ALX LADINI
Model / ISABEL MOSQUERA (INFORMA)
Post Production / RADHA LEÓN)

DAVID

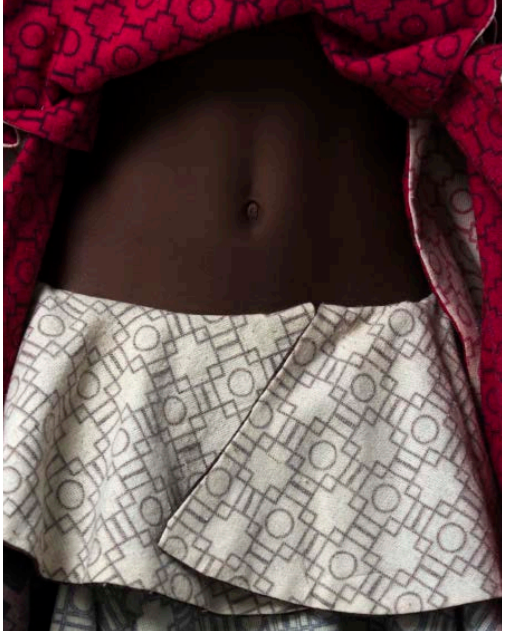
FIFI-CÓ

FOTOGRAFIA: DAVID SIERRA
MUAH: JOHAN GARRIDO
VESTUARIO: ALM LADINI
MODELO: ISABEL MOSQUERA
POSTPRODUCCION: RADHA LEON

David Sierra Interview

By Erica Van Noy

David Sierraは、かつて目にしたことのないタイプの写真を撮るフォトグラファー。その作品は刺激的で印象深く、一瞬で人の目をとりこにする。彼が写真を始めたのは15の時だった。当時は自分のカメラをまだ持っていなかったため、姉のカメラで友達や動物、そして自然の姿を撮っていた。世界をあらゆる方向から見せてくれる「写真」は、何にも縛られない自由そのものだと言える。David はこの考えを深く理解し、大切にしている。彼は発想にあふれた情熱的なアーティスト。そんな彼に、光栄にもemailという形でインタビューをすることができた。また作品が完成する過程でのひらめきや楽しみについての考え方を読むと、彼がファッション界になくてはならないアーティストだということをあらためて認識した。



En Vie（以下En）:撮影の前にテーマやデザインをどのように決めていきますか?

David Sierra（以下DS）:まず、写真や映像でどう表現するか、その方法を模索していく上でコンセプトや浮かんだアイディアを探ります。そして最も大事なのは全体の色調を決定すること。それに基づき、私にとって最も重要な撮影前の全ての準備作業を進めていきます。この準備のおかげで、撮影する段階では自信を持って浮かんだアイディアを活かし、結果素晴らしい作品を迷いなく創り出すことができるのです。

En:あなたにとって、写真の中でもやはりファッション写真は特別なものですか?

DS:撮りたい写真によって様々な要素を組み合わせることができるのでファッション写真が好きです。ファッションとアートを融合させて浮かんだアイディアを形にします。でもドキュメンタリーや芸術、そしてフード写真は世界を様々な視点から見せてくれるのでもちろん好きです。

En:フォトグラファーとして影響を受けるのは?

DS:今の時代と自分の生活です。いい作品を創るための材料は全て自分の周りにそろっているのです。あとは行動を起こすのみ!

En:これからも写真に特化して続けていきますか? それともファッション界の他の仕事にも興味がある?

DS:やはりファッション写真が一番ですが、ゆくゆくはメンズのファッションデザイナーやファッションショーの演出はやってみたいです。

En:フォトグラファーとしての目標は?

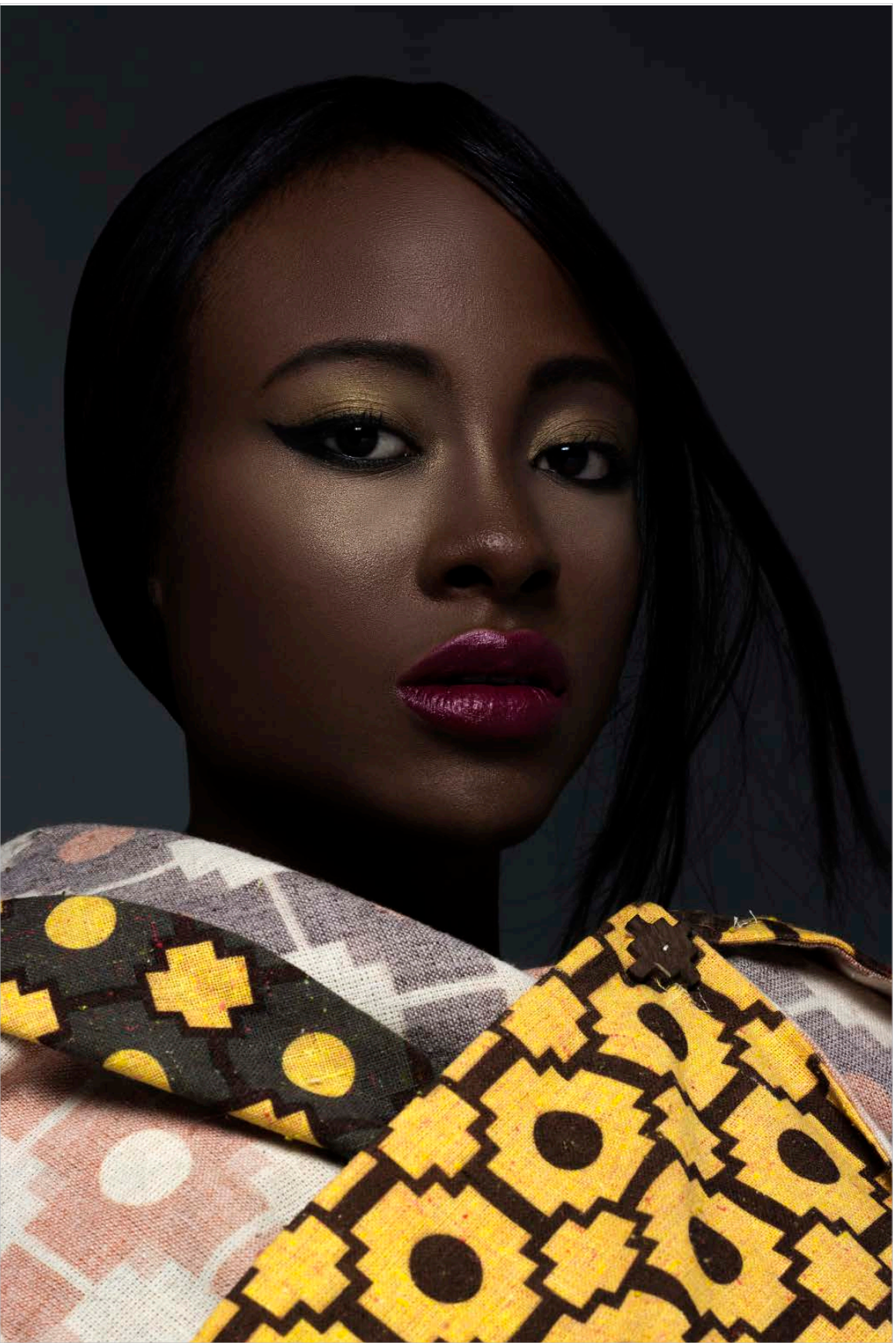
DS:世界中で認められること、いつまでも楽しみながら写真を続けて生活の糧とすること。そして最終的には常に喜びを感じていられることです。

En:今までに取り組んだプロジェクトの中でお気に入りはありますか?

DS:もちろん!Orgasmo Visualです。これは二人の才能豊かな女性、RadhaとCataとともに運営する写真とアートのウェブサイト。私たちはファッション写真の編集やアート、また他のタイプの写真も扱いますが、全てに共通しているのがファッションに関連しているということ。このプロジェクトを通してフォトグラファーとして色々と学び、成長できたと感じています。今年に入って数社の出版社から声をかけていただき、また南米で開催されるMedellin Film Festival（MFFF）（メデジンフィルムフェスティバル）のBest Colombian Fashion Film（ベストコロンビアンファッションフィルム）にノミネートされました。

David Sierraは明確な視点を持った、一途な人物。これはフォトグラファーとしてはなくてはならない特性とも言える。彼の常に楽しみながら仕事に取り組むことだという目標にとって、人を驚かせる作品を創り続けるということは、将来のいい結果につながりそうだ。David SierraとOrgasmo Visualのチームの今後に期待する。

Translated by Tomoko Fujii, Masayasu Miyoshi



L'AMOUR LA MER

Photography / GAETANO MANSI
Makeup & Hair / FRANCESCO SAETTA
Styling / FULVIA MARGHERITA, NINA GASPARRI
Digital set / FRANCESCO GIARRUSSO
Designer / ALESSANDRA GIANNETTI

Dress - ANNA ELIZABETH
WWW.ANNAELIZABETHDESIGNS.COM
Hat - ARTIKAL MILLINERY
WWW. ARTIKAL.COM

KATE

Photography / KATE FIELD
WWW.KATEFIELD.NET
Model / ANABELLA D
WWW.WESPEAKNY.COM
Makeup / JENNIFER GREEN
WWW.JENNIFERGREENMUA.COM

Dress - JIACOLLECTION
WWW.JIACOLLECTION.COM
Hat - ARTIKAL MILLINERY
WWW. ARTIKAL.COM

Dress - JIACOLLECTION
WWW.JIACOLLECTION.COM
Hat - ARTIKAL MILLINERY
WWW. ARTIKAL.COM

Photography / FABRIZIO PERRINI
(FACEBOOK.COM/FABRIZIO.PERRINI.PHOTOGRAPHER)
Models / ANA MARIA,
ZOE MODELS, MICHELANGELO BOCCHIO

Stylist / VALERIA GAETANO
Hair / VINCENZO PANICO
Makeup / RO&RO SCUOLA DI TRUCCO
Special Thanks / EREDI CORAZZA

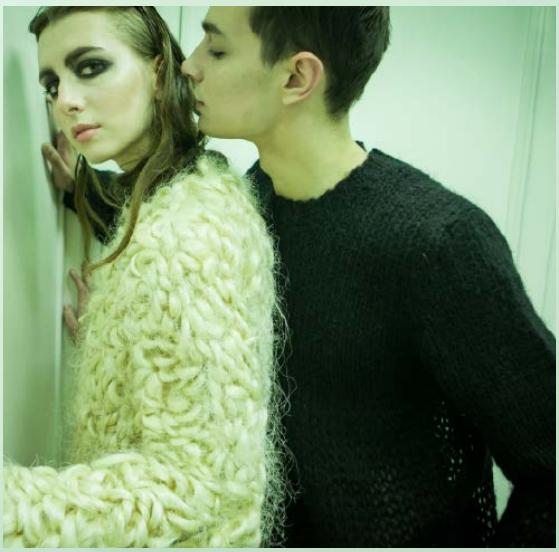
Dress - Johanth Chacon

Outerwear - Tiziano Guardini

- INTRODUCTION: FABRIZIO PERRINI -

By Ann Irvina Ravinther

Fabrizio Perriniは写真をとらえる芸術性に魂をそそいでいる。その瞬間をえることに重きをおき、24時間常に彼の心は写真に支配されている。彼が描くイメージは夢のような世界であるがまた核心を大胆についてもいる。まるで別世界のような、言葉では言い表しようのないものを彼は創り出す。彼の撮る写真はいわば彼自身もしくは彼の見ている世界そのものなのだ。



20代の若さで写真撮影を始めたPerriniは実は子どもの頃から既に父が写真を撮るのを見てきたのだが、彼自身がレンズを覗こうと思ったのはそれよりも後のことであった。Perriniのアーティストとしての発展について言うと彼は失敗から学ぶタイプである。ローマにある小劇場での撮影が彼のキャリアの始発点だ。そこからどんな経験を経たのかはPerriniの作品から読み取ることができる。そこには激しさそして深みがある。Perriniは作品を通して話を紡いできたのだ。

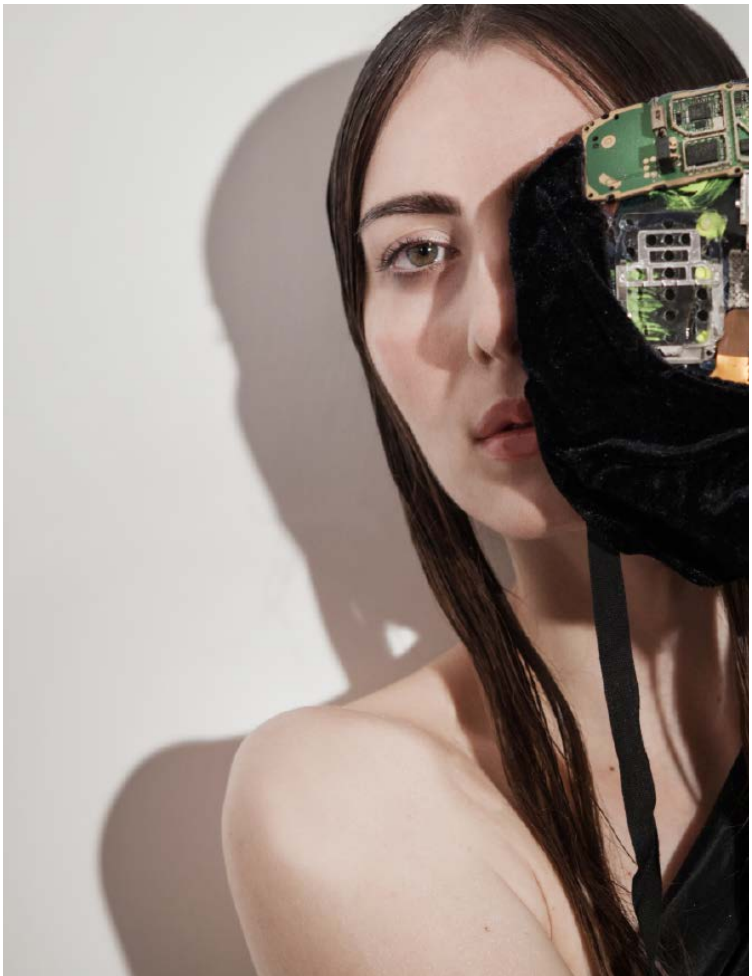
デジタルカメラを使っているのに不思議とノスタルジアの感じる写真が撮れることがある。不自然な明瞭さのない粗い光沢に仕上げることができるのだ。こうしてPerriniは2013年ローマのとある写真学校で学ぶよりもより多くの技術を獲得していった。こうして体得していく傍でファッション写真を試みることができるプロジェクトも舞い込んできた。

Tim Walkerの創る美しさに溢れた複雑奇怪な世界観や、Annie Leitbovitzの迫力あふれる写真にPerriniは魅了されてきた。そしてHelmut NewtonやRobert Mapplethorpeらの挑発的で物議をかます非常に洗練されたモノクロ写真の世界がPerriniの心を捉える。これらのアーティストらがその名と作風を轟かせるように同じくしてPerriniも新進気鋭のアーティストとして名を連ねることになる日も遠くない。

Translated by
Marie Nomura

Jersey - Unif

Hat - Armani
Headscarf - Kenzo



Dress - Johanth Chacon

COMME DES GARÇONS

Photography / BEAT BASCHUNG
Model / VERONIKA KUNZ
Creative concept
MONIKA MAKS

INTO THE HALLOW

Photography / GHASSEN OUESLATI
Assistant / BRAHIM SIDIAI
Model, MUA / LAETITIA KUDRIAVZEVA

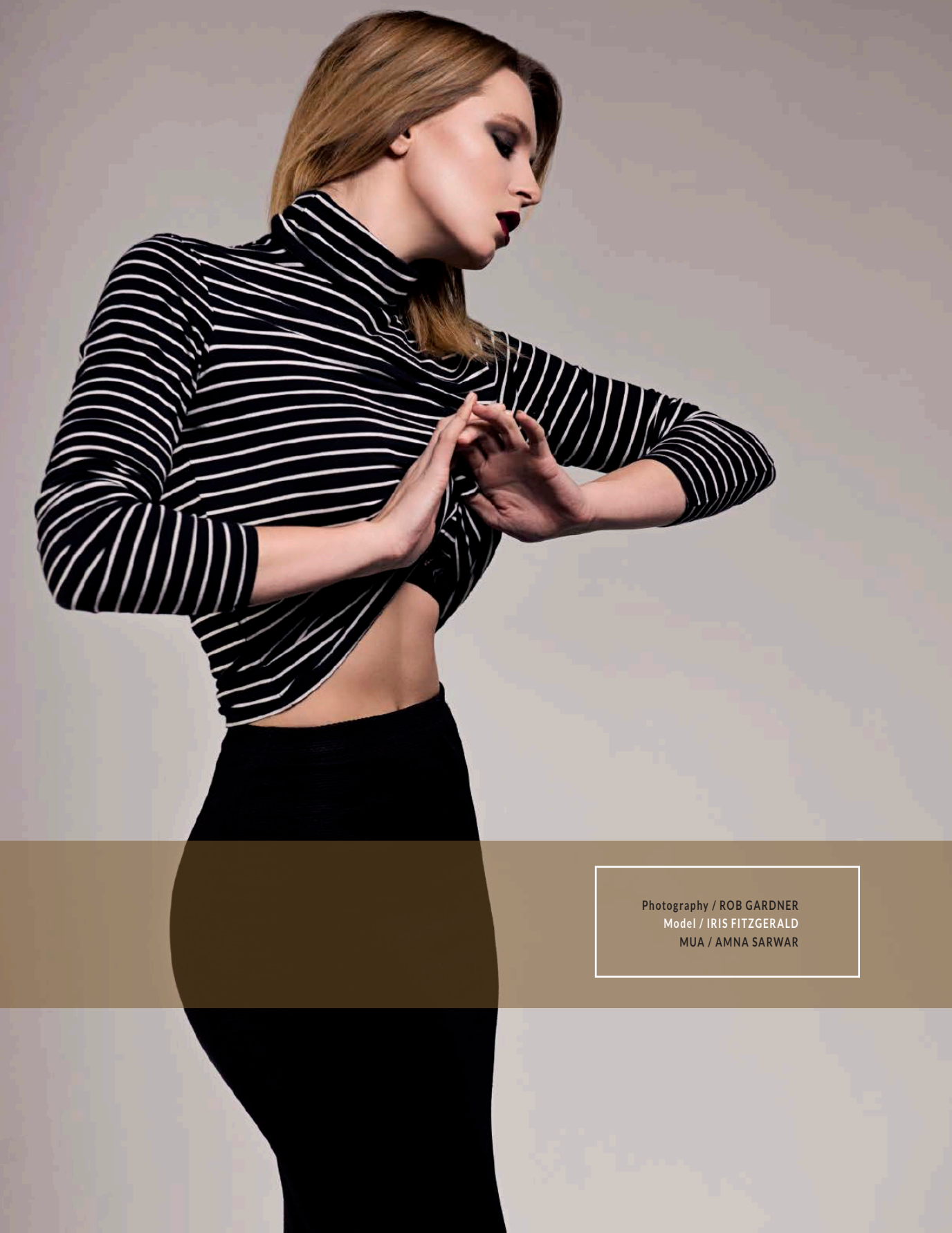
Big thanks / ESPACE ART SADIKA & ZAINEB KAMMOUN

Ghassen Oueslati was born on August 26th, 1991.He is a self-taught photographer who is best known for his works in the fashion world and on socio-cultural issues. He is an obstinate artist with an unruffled fondness for the camera. He is strongly attracted to the dramatic portrait as he said to fashion TV interviewer when asked him about the main theme he's mostly interested in. Specializing in the nude. His photographs convey emotions and passion as a deviation from the standard of fixed lines. In addition to Nudity which, as he thinks, stands for the festivity of the emotionally purified body. His works reflect his great attachment to human, nature and the purpose of our existence in a very artistic way aiming to afford us a genuine perception of human suffering and rebellious souls through his conceptual view. Ghassen Oueslati is going on in his projects tackling many areas and aspiring for creating things on an international scale.

Biography / Mode, Beauté, nu…mais définitivement l'humain, et plus particulièrement les femmes.

Photography / GHASSEN OUESLATI
Model, MUA / LAETITIA KUDRIAVZEVA

MOLTING



Photography / ROB GARDNER
Model / IRIS FITZGERALD
MUA / AMNA SARWAR

TWO

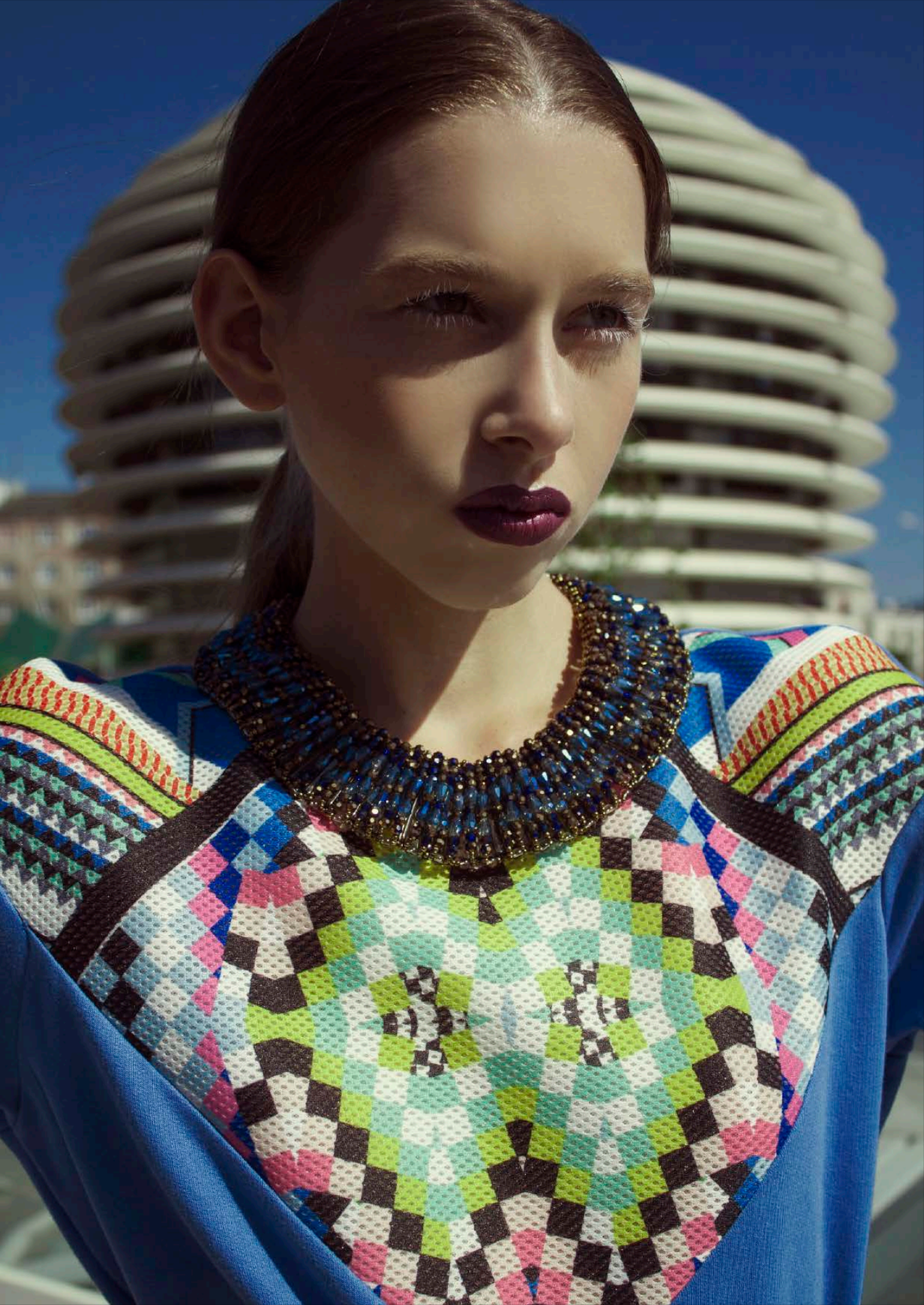
Photography / PAULINA MACIEJEWSKA
Stylist / Cezary Glusniewski
Model / IZABELA KOBUSA
Makeup / JOANNA KANIGOWSKA

POST MODERN

ポストモダン

Top - Slysze jak pachniesz
Pakamera.pl, pants - Weronika Lipka
Pakamera.pl, Jewellery - Lewanowicz
Heels - Kazar

Total - HEVA POLAND
Pakamera.pl, Jewellery - Lewanowicz



Jacket - INSIST
Pakamera.pl, Skirt - EVC DSGN
Pakamera.pl Jewellery - Lewanowicz

Dress - MICHALSKA
Pakamera.pl Jewellery - Lewanowicz
Sunglasses - Marni Heels: Kazar

MILANO

ミラノ

Photography / GENNARO CANAGLIA (HTTP://GENNAROCANAGLIA.COM/)
Styling / FABIANA VARDARO (HTTP://WWW.BASICS.BERLIN)
Makeup / LELLA RUSSO
Models / TITTA - MODEL (2MORROW MILANO)

Full look - & other stories

Top - Vintage
Jeans - Jil Sander Navy Vintage

Shirt - COS
Skirt - Melchiorri

Shirt - Dior Hommes VIntage
Trousers - Melchiorri Tailoring

Clothes & Accessories
[—] Minus
Designed by TORU FUJIMOTO

STRONG JAPAN

Photography / HARUKI SHIMOKOSHI
Model / AOI, IZUMI
Makeup & Hair / YUKA MASUTANI

KOBE
神戸コレクション
COLLECTION

Photography / SHIGEKI NAKAJIMA

Lily Brown

MERCURYDUO

MISCH MASCH

AGNOST

FIG&VIPER

CIROI

JILL
by JILLSTUART

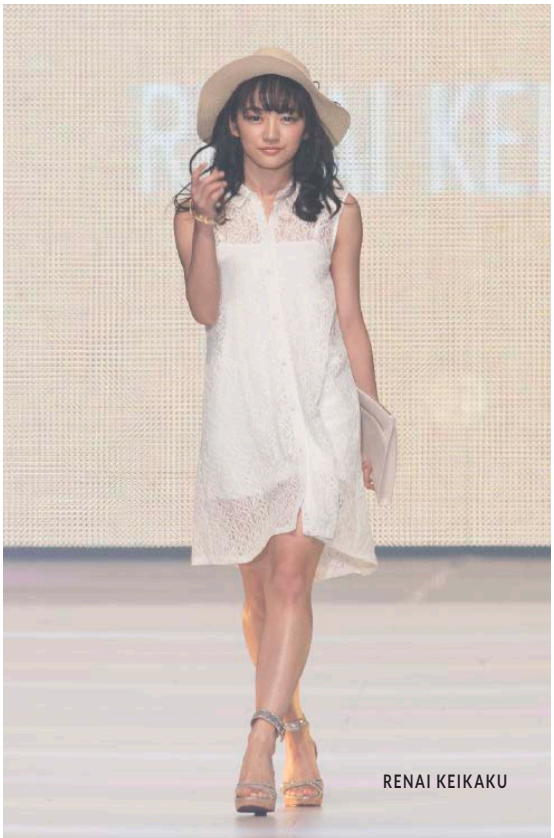
KANSAI
関西コレクション
COLLECTION

Photography /SHIGEKI NAKAJIMA

BE RADIANCE

PROPORTION BODY DRESSING

SPIGA



RENAI KEIKAKU

NEW YORK FASHION WEEK

Photography / DANIEL PERRY STUDIOS

Zang Toi

Cushnie Et Ochs

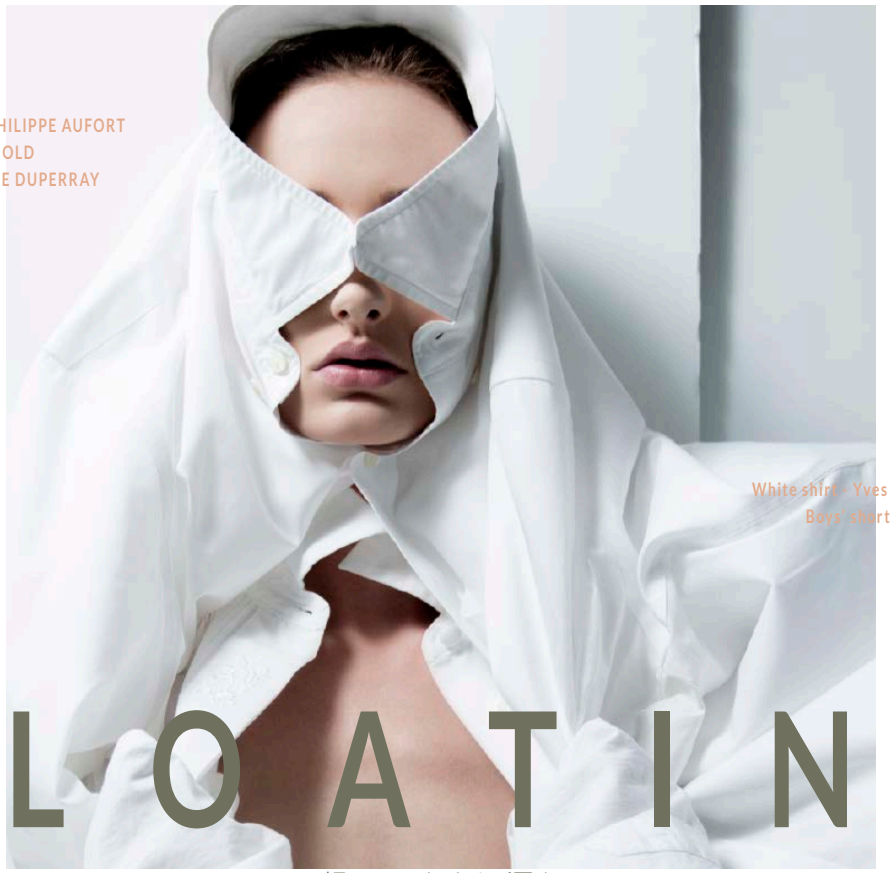
Hiromi Asai

Herve

J. Salinas

White shirt as skirt - Jos A. Bank
Shoes - Bull Boxer
Woolen cap - Nordstrom

Photography / PHILIPPE AUFORT
Model / JESSIE GOLD
MUA / CHRISTINE DUPERRAY



White shirt - Yves St Clair Petites
Boys' short - Fruit of Loom

F L O A T I N G

想いのままに漂う

MIND

Editorial / PHILIPPE AUFORT
Location / NEW YORK, MANHATTAN

By Gargi Chakravarty

彼には言葉を使う才能、常識の向こうを見る才能があるのでー
瞬間を捉える才能とそれらを時間の中に止めておく才能、
非常な程にクリエイティブで、あからさまに非現実的、そして複雑な程に謎めいている。

ー点の曇りも無い程情熱的で、熱烈な信念を持つ人物であり、繊細さと魅力という息を吐くー
無視するのは難しく、頑強だが、それでいて語られないということの無い、
彼は根っからの真の芸術家であり、心の底からパリジャンであり、そしてとても深い魂を持ち合わせている。

ユーモアの色合いはとても壮大で、深遠な思想家という別の一面に輝きを加えてくれるー
彼の創造は高潔さ、創意工夫、そして明晰さを高らかに謳います。
Philippe Aufortの仕事は典型的に摩訶不思議で、隠すことなく実際にそうなのです!

“Philippeである”ということは“良くも悪くも、非常に活動的な頭脳と人生を歩む”ということにつきる。フランス出身のこの過剰なまでの才能に溢れるフォトグラファーの言葉を更に引用するとー“フアートションとはクリエイティブなゲームであり、生地や形、そして人の身体を使ったクリエイティブなゲームである”…さらには、将来が有望で、アーティスティックな光に晒され、清らかな創造性に恵まれた、この男性が一体どんな人物なのかと不思議に思っている、そんなみなさんの為に、少し落ち着いてからPhilippeの今までの道のりについて説明させて頂きます。それ自体がオデッセイであり、また語られるべき物語でもあるのです。みなさんは感激したり謙虚な気持ちになったり、そして意欲が湧いてくることでしょう。そして失礼ながらも私は彼を賞賛していますが、それは彼の人生が私たちへの賞賛となりえると考えたからです。 大胆に夢を追いかけ、そして内なる情熱にしたがってまっすぐに進む、そして大きな夢の実現に向けて絶え間ない努力をして、自らの人生を全ての面において価値あるものにしようとする、そんな私たちへの賞賛となりえるからです!

彼のフォトグラフィーにおける技術的な詳細とアーティスティックなこぼれ話について、より多くの事が語られる必要がありますが、その部分については後ほど触れることにします。最初に遠回りして、Philippeの幼少時代に飛んでみましょう。彼はフランスにある、不気味な火山と森林に囲まれ、野生生物と低木の列がいたるところにある小さな畑の縁といった、まるで防衛線にとどまっている兵士の大群のように、遠く離れた田舎に生まれ育ちました。これらの場所は彼の人格形成における本質的な部分に大きな影響を与えることとなりました。
ただ単に優れたフォトグラファーとしてだけではなく、Philippeはコメディアン、そして劇団の演出家としても世界を旅してきたのです。彼の放浪癖は今も様々な場所へと連れて行き、彼自身も旅が彼の知性を豊かなものし、様々なクリエイティブな道へと誘ってくれると信じているのです。ヴィクトル・ユーゴーはかつてこう言いました、“パリの奥深さについて深く考える者は目まぐるしさに襲われるだろう。それ以上に素晴らしく、悲劇的で崇高なものは無い。”20代の若いPhilippeはパリへ移り、30代の終わりまでパリについてロマンチックな思いにふけていました。ナイトライフやイベント、ファインアート、そして新しい出会いで溢れるパリという都市は彼に“大きな影響”を与えてしまいました。彼はさらにこのように述べました、“空間は僕という人間を構成している基礎です…。そして僕に永遠に影響を与え続けてくれるのです。”。極めて敏感かつ実験に夢中だった幼いPhilippe少年は常に探求に余念がありませんでした。そして彼のその探究心ー常識に捉われない、標準以上、かつ極めて抽象的なものへの飽くなき追求は現在まで続いているのです。彼は共通性を主張してやまないものの間にある独自性の追求に目を光らせているのです。

文化や芸術、熱意そして工夫に溢れた彼の控えめな生い立ちが彼の人格を形成してきました。彼は人々の気持ちを汲み取り、自らの創作を通して多くの人の人生に影響を及ぼしています。彼がカメラのシャッターを押して撮影する度に、たんに彼に向かってポーズをとってくれるモデルを写すのではなく、モデルの肉体に内在する“人格”も捉えるのです。彼が注目しているのは人のカラダがどのように反応して動くのかということです。彼はモデルの中に分裂や反抗の様子を見出し、常識に捉われない、ルール破りの姿勢やラインを見つけ出したいのです。“私にとってフアートションとはアクセサリーの一式、自分の撮影した写真がそこに人格をもたらす為の口実なのです。”とPhilippeは言います。彼は“あからさま”や“単純”を避けて、得体の知れない不思議さを支持しています。

Philippeの子供時代の一番の思い出...

“とある夜の事を覚えているよ。厳しい冬の時だった。夜の8時で外は真っ暗だった。私は家に一人でした。8歳か9歳だったと思います。私の家族は村にいて、パーティーに参加していました。

誰かがドアを叩いたのです。私がドアを開けると、そこには小汚いあごひげをして、汚く弱っていた男が立っていました。彼の名前はオリヴェールでした。彼は道に迷ったと言っていました。私は彼を家に招き入れてコーヒーを淹れて、そしてパンとチーズ、さらにストーブの近くのイスを与えました。1時間経つと私の両親が帰宅しました。二人とも他人をもてなすことに慣れていたので、驚いた様子はありませんでした。二人もオリヴェールと友達になってくれたのです。

それから数年後、オリヴェールは息を引き取りました。彼は私に彼の小さな遺産を受け取らせてくれました。それは数枚のレコード盤とビュッフェ・クランポンの古いクラリネットでした。彼が私にそれを授けてくれたのは、幼かった私が彼を迎え入れた冷たい冬の夜の事を覚えていたからです。彼にとってそれは命綱にも等しかったからです。

ファインアートという分野にて何かを行うということはPhilippeにとってごく自然なものでした。12歳の時から写真の撮影に関心があり、彼の祖父から与えられた最初のカメラについて鮮明に覚えているのです。少し軽い話題になりますが、裕福だけど一年を通して殆ど会うことの無かった祖父からカメラを貰ったことがどれだけ幸運だったかについて語ってくれます。残念なことに彼は15歳になるまでフィルムを買うお金がありませんでした。さらに彼はNikon FEとそれに必要な50mm並びに105mmのレンズ、フィルム、日の当たる部屋などを揃える為にどれだけ一生懸命に働いたのかについても語ってくれます。フォトグラフィーに対する情熱以外にも、彼には脚本家やコメディアンになりたいという強い情熱がありました。彼は様々なものを試してきましたが、それでもフォトグラフィーに対する関心を失うことはありませんでした。

それで彼はフォトグラフィーを正式に学んだのでしょうか?彼の素晴らしい撮影技術は彼自身の答えに従うものではありません。なぜならPhilippeいわくフォトグラフィーやアートを学んだということは無く、パリ第8サン・ドニ大学、並びにクレルモン・フェランにあるフランス最高峰の大学のひとつブレーズ・パスカル大学にて"近代文学"を学びました。それでも彼は芸術と創造性への終わることの無い関係性について子供っぽく打ち明けてくれました。彼は音楽や執筆、被服デザインそして劇の演出、ストリートアート、短編映画が一心に追求されてきたかについて語ってくれました。

Philippeはあらゆる形のアートに影響を受けてきました。マリー・シュイナール(フォトグラファー)からフェデリコ・フェリーニ(映画監督)、マルク・シャガール(画家)、ムーンドッグ(作曲家)、クリス・ウェア(グラフィックノベル作家)、ハワード・バーカー(彼の演劇理論)並びにマシュー・バーニー(ファインアート)など、名前を挙げればキリがありません!　彼曰くフォトグラファーとして影響を与えたのは、"ルーヴェン・アファナドールやデビッド・ラシャペル、ピエール・エ・ジル、チャールズ・リンドバーグ、アイザック・ニュートン、マリオ・テスティーノ、リチャード・アヴェドン、スティーブン・クライン、アーヴィング・ペン、そしてニック・ナイトかな。みんな達人で、独特ですね。私は現在も続く彼らの研究で作品を作り上げるプロセス、彼らのだけではなく自分で作品を作るときのプロセスも同時に理解していきます。その結果、彼らの作品に対する敬意を持つようになりました。"

現在Philippeは朝の数時間に文章を書いて、その日の残りを写真の撮影に費やします。マンハッタンへと拠点を移した3年ほど前にフォトグラフィーこそが天職であると考え始めたのです。"移民であるということは自分の人生の中で大きな一歩だった。そして第二の夢を実現するには最高の時期でした。この新しい空間、リズム、人々そして習慣の中でフォトグラフィーに自分の持てる力を最大限に投入してみたいと考えるようになったのです。"と言ってくれました。

Philippeは撮影の際には18/135mmの基本ズームを装着したCanon Rebel T1iを使用し、そこからCanon 5d mark IIIとcanon zoom f2.8 24/70に切り替えます。どの種類のレンズを使用するのかという質問に対し、笑みを浮かべながら、"今までで最高のズームはf1:2を装着した18mm-80mmかな、例えそれが存在していなかったとしてもね。"と話してくれました。

Philippeは彼の撮影意図を迅速に読み取れて、自らの身体的才能に気付いている心の広いモデルとの仕事を好みます。モデルのJessie Goldの白く清純なフォトグラフィーは実に素敵なものでした。彼がモデルに求めるのは感情がはっきりすることのない表情です。場合によってはモデルに感情を"顔の少し内側に隠してくれないか"とお願いするほどで、それが彼の撮影スタイルを作り上げるのです。そうして清潔で均整の取れたシックなイメージの数々が上品な背景に取り込まれている光景を見ることができるのです。派手できらびやかなものはなにもありませんが、それでいてパンチの効いた最先端のイメージです。白と黒、そして光と影の動きが、イメージが醸し出す強さを引き立ててくれます。装飾物が無い意匠が、より少ないというものをより多いに変えてくれます。

シャッターを押すその直前に、Philippeの心に何が浮かんでいるのでしょうか?"それは心にではなく、フィーリングに現れるのです。言葉では説明できません。私がシャッターを押すのは、そこに明らかな何かがあるからですー正しいライン、正しいエナジー、正しい全てが、そして自由、独立、モデルが醸し出すミステリーといったものです。この瞬間こそが目に見えない何かが見えるようになる時です。"と話してくれました。

この度私たちはPhilippeのとても興味深くて速射砲のような質問に関して、独占的に接する機会がありました。彼はまた新進のフォトグラファーに向けたアドバイスや、1日だけ透明人間になれるのであれば何を撮影してみたいかについて教えてくれました!それは今回の取材で特集しようとした以上の人物像でした。この極めて才能に溢れた、型破りで前衛的、そして典型的でないフォトグラファーについて、より多くの事を皆さんの為に用意しています。これからも本誌のこのコーナーに注目して下さい。その時まで、不思議いっぱいに、カリスマ性を蓄えて、そしてスタイリッシュでいて下さいね!

(参考までに、Philippeの新しいホームページは作成中ですが、http://www.philippeaufort.comにて彼の作品を一目みることができます)

Translated by Shingo Fukushima

Black Coat Judo GI - MAS
Black Shoes - J Renee Reesa

Top tank- Nancy Meyer
Tights - Cuddl Duds
Shoes - Lord and Taylor
Wig - Especially Yours